

山口市歴史文化基本構想

－歴史文化資源を未来へ伝えるために－

【概要版】



令和2年3月
山口市教育委員会

背景・目的と期待する効果

構想策定の背景

我が国における文化財保護は、昭和25年に制定された文化財保護法に基づき、文化財類型ごとの特性に応じ、文化財の保存・活用のための措置が講じられています。

文化財保護法は、時代の趨勢や社会の変化に応じて幾度かの改正が行われ、平成30年6月には、未指定文化財を含めた有形・無形の文化財をまちづくりに生かしつつ、文化財継承の担い手を確保し、地域社会総がかりで取り組んでいくことのできる体制づくりを推進するため、地域における文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財保護行政の推進力の強化を図る内容の改正が行われました。

文化財を取り巻く環境は大きく変化しており、過疎化や少子高齢化に伴う人口減少等を受けて、長い歴史の中で伝えられてきた文化財を次世代に継承していくことが困難になりつつある状況にあります。

一方で、地域のアイデンティティを確保し、また、地域の魅力づくりや活性化の資源として、文化財の価値の再認識やその活用の必要性が高まっています。

構想策定の目的

地域の多様な文化財を保存・活用し、継承していくため、また、歴史文化を生かした地域づくりに資するために、幅広く文化財の情報を把握する調査を実施し、これからの文化財保護を進めるための基本的な構想（マスタープラン）として、「山口市歴史文化基本構想」を策定しました。

対象とする文化財

文化財保護法が対象とする文化財 + その他の文化財

||

歴史文化資源

うまく使うことで、魅力を発揮する可能性を秘めた原石であると同時に、一度壊れてしまえば永遠に失われてしまうかけがえの無いもの

期待する効果

- 歴史文化資源や歴史文化に関する社会的気運の高まり
- 地域との連携・協力の増進
- 地域の魅力の推進
- 地域の活性化
- 連携のきっかけづくり・深化



中尾の文化財さんぽ

山口市の状況

- 1,000km² を超える面積を有する（県内最大）
- 北に中国山地を背負い、南に瀬戸内海を臨む南北に長い形状で、3つの水系（樫野川、佐波川、阿武川）に属する
- 歴史的に2つの国（周防、長門）、3つの郡（吉敷、佐波、阿武）に属する



多彩な**歴史文化資源**が存在

歴史文化の特徴

山口市における指定等文化財や、本構想策定に伴う文化財把握調査を通して明らかとなった山口市の歴史文化の特徴を、概括的に整理すると次のようになります。

全体的な特徴

- 豊かな地域資源を生かしたものづくりの文化
- 陸・川・海の道と交流の遺産
- 多彩な建築文化や神社仏閣と人々の活動
- 地域に息づく生活文化と生業



徳地手漉き和紙



萩往還



鷺の舞

時代ごとの特徴

- 多彩な地形・地質と自然 — 原始より前～現代
- 旧石器時代から古墳時代の先人の足跡 — 原始～古代
- 古代における手工業生産の展開 — 古代
- 重源による東大寺再建とその遺産 — 中世
- 今に息づく大内氏の歴史文化 — 中世
- 萩藩による産業の振興 — 近世
- 維新策源地・山口 — 近世・近代
- 県都山口 — 近代～現代



長門峡



旧山口藩庁門



瑠璃光寺五重塔

関連文化財群

関連文化財群の設定の目的

関連文化財群とは、様々な歴史文化資源を歴史的・地域的な関連性に基づき一定のまとまりとして捉えたものです。関連する歴史文化資源を群として捉えることで、山口市の歴史文化の特徴や価値をわかりやすく、魅力的に発信することを目的としています。

今回設定した関連文化財群は、モデルとしての性格を有し、今後の具体的な取組を先導する役割を担うことを意図するものです。

関連文化財群の設定の考え方

複数の歴史文化資源を相互に関連づけて保存・活用するため、関連性、文化財類型の複合性、実在性、公開性（活用性）、地区横断性・広域性、時代性を抽出・設定要件とし、テーマ・ストーリーの設定を行っています。

1 多彩な地質・地形と造形美

特徴的な地質・地形、それらがもたらす資源、景観を中心とした関連文化財群

【主な構成要素】

長門峡
白石山
長者ヶ原
鳴滝 など



白石山

2 重源による東大寺再建の足跡

重源による東大寺の再建の足跡やその遺産を中心とした関連文化財群

【主な構成要素】

佐波川開水
月輪寺薬師堂
法光寺石造十三重塔
岸見の石風呂 など



月輪寺薬師堂

3 今に息づく大内氏の歴史文化

大内氏に関わる遺跡や建造物、今に生きる大内文化と人びとの活動に関わる関連文化財群

【主な構成要素】

大内氏遺跡附凌雲寺跡
瑠璃光寺五重塔
常栄寺庭園
肥中街道 など



大内氏遺跡館跡

4 毛利氏による開作のあゆみ

開作の歴史や遺産、生み出された土地を生かした特産物などに関わる関連文化財群

【主な構成要素】

名田島新開作南蛮樋
慶安開作記念碑
一宝家文書
長沢池 など



名田島新開作南蛮樋

5 維新策源地・山口

明治維新における山口の役割や維新の志士、近代を築いた人々の足跡に関わる関連文化財群

【主な構成要素】

旧山口藩庁門
大村益次郎関係資料
十朋亭
南園隊屯所跡 など



十朋亭

6 県都山口

県庁所在地となり発展する過程で生み出された、政治、経済、文化に関わる関連文化財群

【主な構成要素】

山口県旧県庁舎及び県会議事堂
山口県行政文書
河村写真館
末宗家住宅主屋 など



山口県旧県会議事堂

■ 時代の流れと関連文化財群



7 陸・川・海の道と交流の遺産

街道や海道、舟運のルートや結節点、宿場町・港町などに残されている遺産、文化に関わる関連文化財群

【主な構成要素】

萩往還
陶峠下一里塚
阿知須の居蔵造
徳地人形浄瑠璃 など



阿知須の居蔵造

8 山口の黎明期における先人の暮らし

弥生時代・古墳時代における遺跡・遺物を通じてうかがい知ることのできる先人の足跡に関わる関連文化財群

【主な構成要素】

宮ヶケ保遺跡出土木製品
朝田墳墓群
上東遺跡
西遺跡 など



朝田墳墓群

9 古代山陽道沿線に展開した工業地帯

古代山陽道沿いに展開した手工業生産に関わる関連文化財群

【主な構成要素】

陶陶窯跡
百谷窯跡
周防鑄銭司跡
鑄銭司古図 など



陶陶窯跡

10 地域資源を生かした産業

古代から現代におけるものづくりの遺産に関する関連文化財群

【主な構成要素】

徳地手漉き和紙
山口萩焼
蔵目喜鉞山跡
湯田温泉 など



山口萩焼

11 自然と向かい合った人々の努力の足跡

近世から現代における土地改良等に関する関連文化財群

【主な構成要素】

榎野川修工記碑
江畑溜池堰堤
郷之尾堤碑
島地下畑の用水 など



榎ノ木峠トンネル

12 安穏な生活への願いと祈り

祭りや年中行事とその舞台を中心とした関連文化財群

【主な構成要素】

地福のトイトイ
平川の大スギ
陶の腰輪踊り
秋穂八十八ヶ所霊場めぐり など



秋穂八十八ヶ所霊場めぐり

基本理念と基本方針

基本理念と方針の設定

山口市には様々な歴史文化資源が存在しており、これらの保護（保存・活用）、継承には、所有者や市民、事業者など、地域ぐるみで取り組むことが重要ですが、そのためには、まずは市民が地元の歴史文化資源の良さを知ることが大切です。これにより、歴史文化資源を様々な取組に生かすとともに、次世代に継承することが可能となります。

このため、基本理念を「多彩な山口の宝を知り、生かし、未来へ伝える」と設定します。

また、歴史文化資源の保存・活用の基本理念を実現していくためには、施策・事業及び市民等を含めた各主体による具体的な取組が必要となります。

このため、具体的な取組を方向づける柱として、3つの基本方針を設定します。

あわせて、それぞれの基本方針に共通するキーワードとして、「市民・地域の力と協働」を掲げます。

基本理念

多彩な山口の宝を知り、生かし、未来へ伝える

市民・地域の力と協働

基本方針 1

歴史文化資源の把握と
価値の共有

- 歴史文化資源の把握の推進
- 歴史文化資源の情報発信と価値の共有化

基本方針 2

歴史文化資源の保存と
まちづくりへの活用

- 歴史文化資源の適切な保存・整備の推進
- 歴史文化資源の危機管理
- 歴史文化を生かしたまちづくり

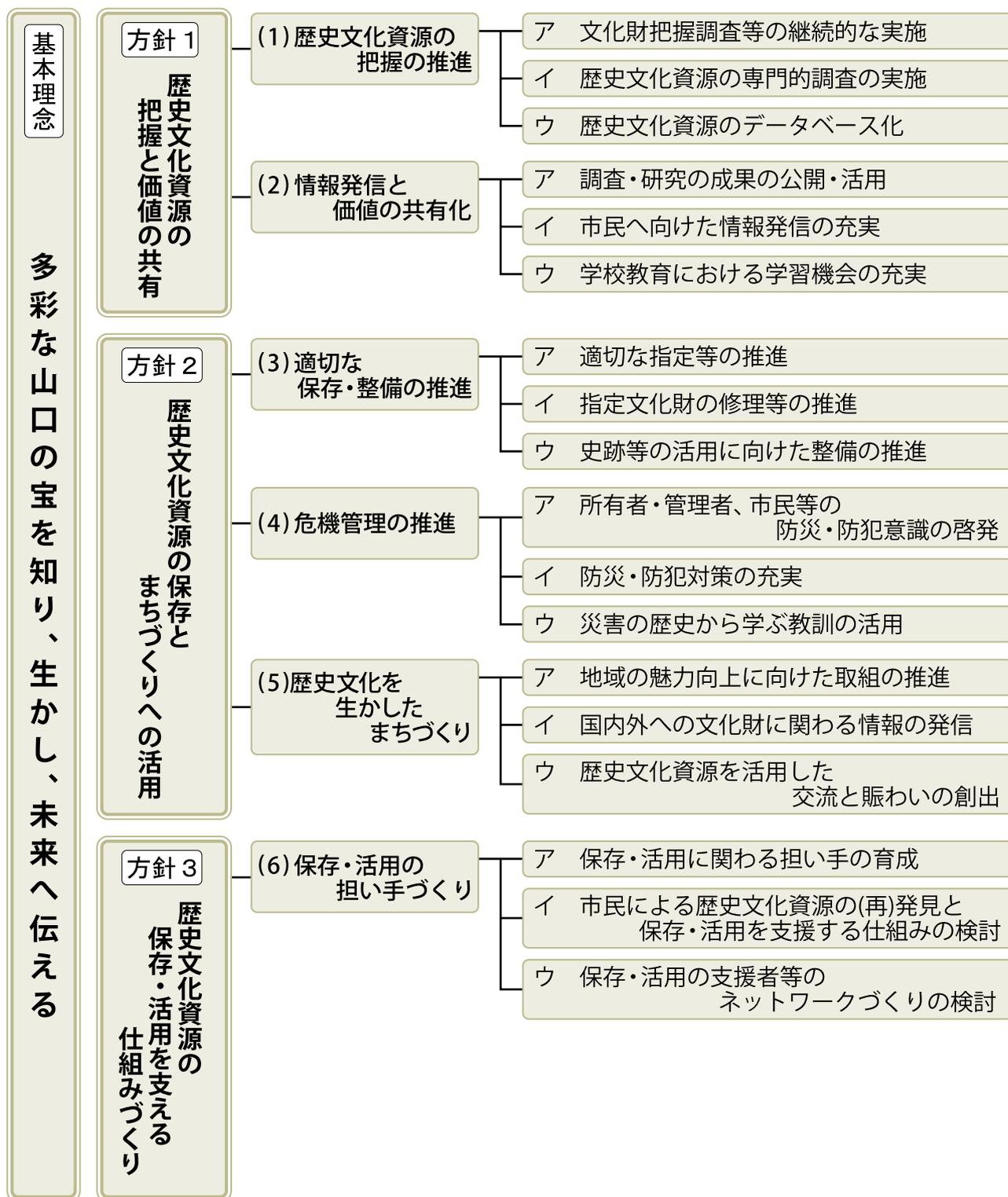
基本方針 3

歴史文化資源の保存・活用を支える仕組みづくり

- 市民等の理解と協力、参加・協働を進める仕組みづくり
- 歴史文化資源の保存・活用を支える人づくり・まちづくり
- 庁内や団体機関等と連携の強化
- 文化財行政の体制の充実

保存・活用に向けた取組の展開

取組に向けた体系



推進体制

- 市民参加と協働
- 情報の管理と発信の体制づくり
- 庁内連携体制の充実・強化
- 関係機関や自治体との連携

推進体制と進行管理

構想の推進と進行管理

- 構想の推進（構想に位置付けた取組の施策・事業化）
- 文化財保存活用地域計画の作成（構想に位置付けた取組の推進）
- 進行管理（施策・事業の計画的な実施、評価、事業の改善、他事業への反映）

■ 取組の展開イメージ

施策区分	取組項目		取組の展開	
			今後3年程度	4年目以降
歴史文化資源の保存・活用に向けた取組の展開	(1) 歴史文化資源の把握の推進	ア 把握調査等の継続的な実施	調査の継続的な実施	必要に応じて実施
		イ 専門的調査の実施	専門的調査の検討	専門的調査の実施
		ウ 歴史文化資源のデータベース化	公開・運用	継続・拡充
	(2) 情報発信と価値の共有化	ア 調査・研究成果の公開・活用	公開・活用	継続・拡充
		イ 市民へ向けた情報発信の充実	情報提供・啓発	継続・拡充
		ウ 学校教育における学習機会の充実	充実	継続・拡充
	(3) 適切な保存・整備の推進	ア 適切な指定等の推進		
		イ 指定文化財の修理等の推進	推進	継続
		ウ 活用に向けた整備の推進		
	(4) 危機管理の推進	ア 所有者・管理者、市民等に対する意識啓発	啓発	継続・拡充
		イ 防災・防犯対策の充実	対策の周知等	継続・拡充
		ウ 災害の歴史から学ぶ教訓の活用	検討	啓発
	(5) 歴史文化を生かしたまちづくり	ア 地域の魅力向上に向けた取組の推進	推進	継続・拡充
		イ 国内外への情報の発信	国内への発信	国外への発信の検討
		ウ 歴史文化資源を活用した交流と賑わいの創出	推進	継続・拡充
	(6) 保存・管理の担い手づくり	ア 担い手の育成	育成	継続・拡充
		イ 市民による保存・活用を支援する仕組みの検討	仕組みづくりの検討	仕組みの創設または拡充の検討
		ウ 支援者等のネットワークづくりの検討	検討	ネットワークづくり
	保存活用地域計画	作成		

山口市歴史文化基本構想の詳細は、市公式ホームページをご覧ください。

山口市歴史文化基本構想（概要版）

発行日：令和2年（2020年）3月
 編集・発行：山口市教育委員会 文化財保護課
 〒753-0073 山口県山口市春日町5番1号
 電話番号：083-920-4111 FAX：083-920-4112
 E-mail：bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp



本構想は、平成29～30年度文化庁「文化遺産総合活用推進事業」、平成31年度文化庁「地域文化財総合活用推進事業」補助金を活用して策定しました。

表紙写真：(左上)徳地手漉き和紙 (中央上)瑠璃光寺五重塔 (右上)徳佐八幡宮のしだれ桜
 (左中)阿知須の居蔵造 (右中)正八幡宮
 (左下)小鯖代神楽舞 (中央下)旧桂ヶ谷貯水池堰堤 (右下)外郎